

福岡市内河川の底生動物を用いた水質評価

環境科学課 有本圭佑・大平良一

第 49 回九州衛生環境技術協議会生物分科会

河川の水質について総合的・長期的な実態を把握するため、福岡市保健環境研究所では 1992 年から市内に流入する 5 河川（多々良川，室見川，樋井川，那珂川，御笠川）の底生動物調査を 1 年に 1 河川ペースで実施し，ASPT（Average score per taxon）を用いた水質評価を行っているが，生物多様度指数を用いた環境評価は近年行われていない．そこで，今回は 1992 年から 2022 年までの 5 河川を対象に河川環境の変遷についてまとめた結果，河川水質は改善し，良好な状態を維持していると考えられた．また生物多様度指数を用いた環境評価を行った結果，ASPT による水質評価では捉えられない河川環境の変化を反映していることが示唆された．